

いのちをまもるPARTNERS
医療安全全国共同行動

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”に ぜひご参加ください

参加登録施設・会員 募集中!

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”とは…

患者さんの安全を守り、患者さんと医療者がともに安心して治療やケアに専念できる医療環境づくりを促進するために、日本の医療を支える全国の医療機関・医療従事者・医療団体が、施設や職種、専門の壁を超えて、力を合わせて、安全目標の実現をめざす、医療界初の共同事業です。医療安全全国共同行動は2008年に発足し、その活動をさらに推進し、継続発展させるため、2013年に「一般社団法人 医療安全全国共同行動」が設立されました。



医療安全全国共同行動 議長
高久史磨

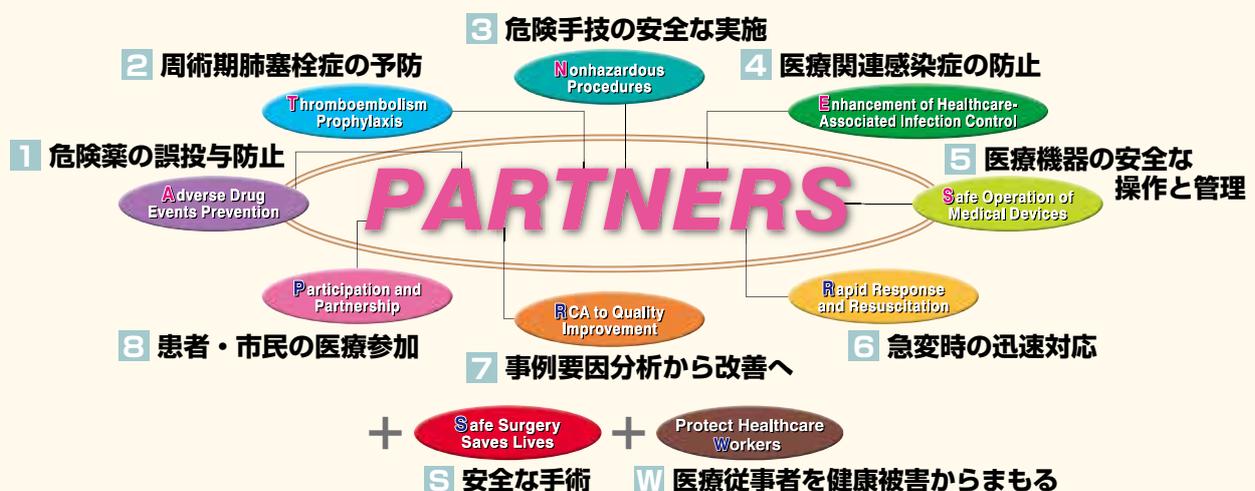
医療安全全国共同行動の活動

1. 医療事故をなくすための組織的な改善活動
2. 病院の取り組みに対する技術的支援
3. 地域での医療安全活動の交流・普及
4. 改善に取り組む病院を広げる活動
5. 見える化 [達成指標・HSMR (標準化病院死亡比)・対策の浸透度]

(一社) 医療安全全国共同行動の設立呼びかけ団体

日本医師会 日本歯科医師会 日本看護協会 日本薬剤師会 日本臨床工学技士会 医療の質・安全学会

医療安全に取り組むための行動目標を掲げています



2008年、医療安全全国共同行動の発足にあたって、医療の現場で“避けることのできる死”を少しでも減らすために、“今すぐにでもできるのに、できていないこと”が8つの行動目標として取り上げられました。2012年には手術室チェックリストの有効性が実証されたことなどから「行動目標S：安全な手術－WHO指針の実践」が、2015年には医療従事者の抗がん剤曝露などへの懸念の高まりから「行動目標W：医療従事者を健康被害からまもる」が加わりました。

もっと安全な医療のために！ 10の行動目標

全国の参加登録施設が行動目標を選んで取り組んでいます

参加登録施設に、各目標ごとに目標実現のための「支援ツール」をホームページから提供しています。



行動目標 ① 危険薬の誤投与防止

【目標】 危険薬の誤投与に起因する死亡を防止する

【推奨する対策】

1. 危険薬の啓発と危険薬リストの作成・周知
2. 高濃度カリウム塩注射剤、高張塩化ナトリウム注射剤の病棟保管の廃止
3. 入院時持参薬の安全管理
4. がん化学療法レジメンの院内登録制度
5. 「危険薬の誤投与防止ベストプラクティス16(NDP)」の実施(チャレンジ)



行動目標 ② 周術期肺塞栓症の予防

【目標】 周術期肺塞栓症による死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 適正な予防法の選択のための総合的な評価
2. 予防法の安全で確実な実施と情報収集
3. 職員の静脈血栓塞栓症予防に対する重要性の認識向上
4. 患者への説明、同意と、患者参加の促進
5. ハイリスク患者へのスクリーニング検査の実施(チャレンジ)
6. 静脈血栓塞栓症の早期診断・治療マニュアルの作成(チャレンジ)



行動目標 ③ 危険手技の安全な実施

(a) 経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底

【目標】 経鼻栄養チューブの挿入留置手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

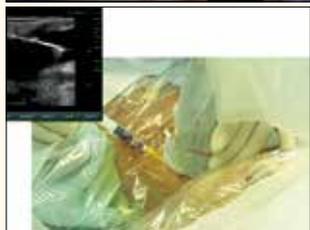
1. 経鼻栄養チューブの挿入と位置確認のためのマニュアルの策定及び遵守
2. 空気聴診法を位置確認の確定判断基準にしない
3. 初回挿入留置時はエックス線撮影で位置確認を行う
4. pH測定による補強確認を励行する(チャレンジ)

(b) 中心静脈カテーテル穿刺挿入手技に関する安全指針の遵守

【目標】 中心静脈カテーテルの穿刺挿入手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. TPNとCVC留置適応の厳格化
2. 安全な穿刺手技等の標準化
3. 安全手技の教育体制の構築(チャレンジ)



行動目標 ④ 医療関連感染症の防止

【目標】 医療行為が関わる感染症死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 手指衛生*の徹底
 2. 標準予防策・接触感染予防策の強化
 3. 環境と器具の清浄化
- *WHO "Clean Hands" Campaign

行動目標 ⑤ 医療機器の安全な操作と管理

(a) 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理

【目標】 輸液ポンプ・シリンジポンプが関わる有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 輸液ポンプ・シリンジポンプの保守点検の確実な実施
2. 操作者マニュアルの作成と教育の徹底
3. 操作者用チェックリストの作成と適正な運用
4. 機種の一貫性(チャレンジ)
5. 院内認定制度の確立(チャレンジ)





(b) 人工呼吸器の安全管理

【目標】人工呼吸器が関わる有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 人工呼吸器の保守点検（日常・定期点検）の確実な実施
2. 人工呼吸器動作確認
3. チェック表の作成と運用
4. 生体情報モニタを必ず装着する
5. 警報対応態勢の確立（チャレンジ）
6. 人工呼吸器関連肺炎（VAP）の予防（チャレンジ）



行動目標 6 急変時の迅速対応

【目標】医療行為に伴う院内急変事例の死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 有害事象に対する緊急対応手技の浸透
2. 心肺蘇生法の職員教育の徹底
3. 院内救急計画の策定と体制づくり
4. 容態変化への早期対応態勢（R R S）の確立（チャレンジ）



行動目標 7 事例要因分析から改善へ

【目標】有害事象や死亡事例の要因分析に基づくシステムの改善

【推奨する対策】

1. 事例要因分析の手法の周知と職場での実施
2. 事例要因分析で明らかになった課題に関する改善活動の実施
3. M & Mカンファレンス（Moribidity & Mortality Conference）のプログラム化（チャレンジ）



行動目標 8 患者・市民の医療参加

【目標】患者・市民と医療者のパートナーシップを通じてケアの質・安全と相互信頼を向上させる

【活動】1. 患者や地域の市民が参加・参画して医療の質・安全を向上させる活動を新規に実施する。2. 活動の成功体験や教訓を共同行動HPから紹介する。

■ 支援ツールを提供している参考モデル (a)安全は名まえから～患者と医療者の協

同によるフルネーム確認 (b) からだと病気を知らるために～患者図書室の設立へ向けて (c) 転ばぬ先に～患者参加による転倒転落防止 (d) 周術期肺塞栓症予防への患者参加 (e) 一冊にまとめて安心、おくすり手帳



行動目標 S 安全な手術－WHO指針の実践

【推奨する対策】

1. 正しい患者の正しい部位を手術する
2. チームは、患者を疼痛から守りながら、麻酔薬の投与による有害事象を防ぐことが分かっている方法を用いる
3. 命にかかわる気道確保困難もしくは呼吸機能喪失を認識し適切に準備する
4. 大量出血のリスクを認識し適切に準備する
5. 患者が重大なリスクを持っていると分かっている

アレルギーあるいは薬剤副作用を誘発することを避ける 6. 手術部位感染のリスクを最小にすることが分かっている方法を一貫して用いる 7. 手術創内に器具やガーゼ（スポンジ）の不注意な遺残を防ぐ 8. 全ての手術標本を確保し、きちんと確認する 9. 効果的にコミュニケーションを行い、手術の安全な実施のために極めて重要な情報をやりとりする 10. 病院と公衆衛生システムは、手術許容量、手術件数と転帰の日常的サーベイランスを確立する

行動目標 W 医療従事者を健康被害からまもる

(1) 抗がん剤曝露のない職場環境を実現する

【推奨する対策】

1. 調製時の吸入曝露防止のために、室外排気型の安全キャビネットを設置する
2. 取り扱い時の曝露防止のために、閉鎖式接続器具を活用する
3. 取り扱い時におけるガウンテクニック（PPE: 呼吸用保護具、保護衣、保護キャップ、保護メガネ、保護手袋の着用）を徹底する
4. 取り扱いに係る作業手順（調剤、投与、廃棄等における曝露防止策を考慮した具体的な作業方法）を策定し、関係者へ周知徹底する
5. 取り扱い時の吸入曝露、針刺し、経皮曝露した際の対処方法を策定し、関係者へ周知徹底する、他

(2) 感染症の拡散を防止する院内手順を遵守する

【推奨する対策】

1. 針刺し切創事故を防止する
2. ワクチン接種および抗体価の把握

安全目標の達成に向けて支援しています

医療安全全国共同行動では80名を超える多職種・多分野の専門家の方々がボランティアで支援活動に従事、目標別のセミナーやワークショップ、さらにホームページを通じて医療安全に取り組む医療機関を支援しています。

(*印の閲覧は参加登録施設および会員限定となっています)

●研修会や目標別のセミナー、ワークショップを開催しています

ホームページから開催案内や報告がご覧になれます



2016年7月
医療安全研修会 (ヒューマンエラー分析)



2016年7月
医療安全研修会 (チームトレーニング)



2015年11月
分科会「安全な手術-WHO指針の実践」



2015年8月
医療安全管理者・病院管理者向け研修
「院内事故調査の手法を学ぶ」



2014年6月
キックオフセミナー 機器展示



2012年4月
ワークショップ「人工呼吸器下のケア」

●講師を派遣します 院内研修など、目的に応じて共同行動より専門の講師を紹介・派遣いたします

●ホームページから各種支援・情報を提供しています

[支援ツール]*

行動目標を実現するために開発された支援ツールとして、目標別に「ハウツーガイド」(詳細解説と推奨対策マニュアル)と「ツール」(取り組みを支援するツール)を提供しています

目標	ハウツーガイド	ツール
9目標共通		TOOL BOX
行動目標1 危険薬の誤投与防止	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標2 周術期肺塞栓症の予防	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標3 危険手技の安全な実施		
a) 経鼻栄養チューブ	ハウツーガイド	TOOL BOX
b) 中心静脈カテーテル	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標4 医療関連感染症の防止	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標5 医療機器の安全な操作と管理		
a) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	ハウツーガイド	TOOL BOX
b) 人工呼吸器	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標6 急変時の迅速対応	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標7 事例要因分析から改善へ	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標8 患者・市民の医療参加	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標9 安全な手術-WHO指針の実践		TOOL BOX
☆診療所の安全対策		TOOL BOX

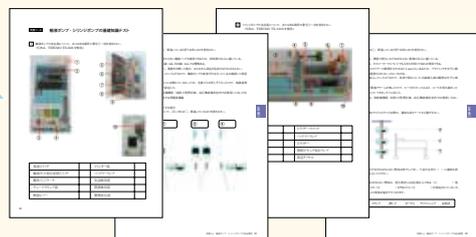
支援ツール一覧



危険薬シール
(目標 1)



危険手技の安全な実施
(中心静脈カテーテル)
教材ビデオ短縮版
(目標 3b)



輸液ポンプ・シリンジポンプの基礎知識テスト (目標 5 a)

病院・診療所など医療機関の皆さまへ ぜひ共同行動の「参加登録施設」に登録をお願いします

医療安全全国共同行動「いのちをまもるパートナーズ」にぜひご参加いただき、行動目標の実現と経験・教訓の共有にご協力をお願いいたします。参加登録をいただいた施設には、行動目標への取り組みをさまざまな形で支援します。

※詳細はホームページのトップページから「病院・診療所の皆さまへ」をご覧ください。

参加登録施設のおもな特典

●「支援ツール（行動目標実現のためのツールキットやハウツーガイド）の閲覧・利用

●「ねっとフォーラム専用ページ」（参加登録施設限定サイト）の閲覧

【閲覧・利用できるもの】

- ① 目標達成のためのアドバイス
- ② 相談室（アドバイザーへの相談・回答）
- ③ ねっとライブラリー（参加登録施設が提供する医療安全ツールを収載）
- ④ ねっとセミナー（アドバイザーによる書き下ろしセミナー）
- ⑤ 定期掲載記事（各施設の取り組み紹介、コラムなど）
- ⑥ 限定公開資料

●メールマガジンの受信（安全管理者による取り組み紹介や病院長のコラム、アドバイス等の記事、新着資料やツールの紹介、医療安全関連のセミナー情報など）

* 病院は1施設10名まで、診療所は1名、ご登録いただけます。

●メーリングリストへの参加（情報交換・意見交換、アドバイザーへの相談など可能）

* 上記メールマガジン登録者をご参加いただけます。

●アドバイザーへの相談・質問（メーリングリスト、メルマガへの投稿にて）

●マイページ開設（自施設のページで定期報告入力とフィードバックなど可能）

●参加登録証の院内掲示（病院向けA3判、診療所向けA4判またはA3判）

●講師の紹介・派遣（院内研修等への専門家の派遣他）

●共同行動のバナーやロゴマークの使用（施設のHPなどに掲載可能）

●各種割引（医療安全全国共同行動が主催するセミナー等の受講料、刊行物等）

●施設名公表（共同行動HPやパンフレットに掲載）

■年間登録費用（1カ年は4月～翌年3月）

〈病院〉1カ年／4万円（200床以上）

1カ年／2万円（200床未満）

〈診療所〉2カ年／1万円

■参加登録方法

ホームページのトップページのボタン、または「病院・診療所の皆さまへ」のページからお手続きください。年度途中でも登録できます。



参加登録証
貴施設内に掲示していただけます

参加登録施設

【病院】

【北海道】旭川赤十字病院／J A北海道厚生連遠軽厚生病院／釧路赤十字病院／市立千歳市民病院／釧路労災病院【青森県】医療法人整友会 弘前記念病院／黒石市国民健康保険 黒石病院／健生病院【宮城県】仙台市立病院【秋田県】秋田県立脳血管研究センター【山形県】山形県立新庄病院／三友堂病院／米沢市立病院／山形県立中央病院【福島県】医療生協 わたり病院／竹田総合病院／福島県立医科大学附属病院／太田総合病院附属太田西ノ内病院／脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院【茨城県】東京医科大学茨城医療センター／筑波記念病院【栃木県】自治医科大学附属病院／獨協医科大学病院／栃木県済生会宇都宮病院／佐野厚生総合病院【群馬県】公立藤岡総合病院【埼玉県】埼玉協同病院／自治医科大学附属さいたま医療センター／埼玉県総合リハビリテーションセンター／獨協医科大学越谷病院／埼玉県立循環器・呼吸器病センター／パーク病院【千葉県】東邦大学医療センター佐倉病院／千葉県立海浜病院／成田赤十字病院／新東京病院／千葉脳神経外科病院／東京女子医科大学附属八千代医療センター【東京都】虎の門病院／武蔵野赤十字病院／NTT 東日本関東病院／立川相互病院／東京医科大学病院／東京衛生病院／東邦大学医療センター大森病院【神奈川県】神奈川県厚生連伊勢原協同病院／北里大学病院／汐田総合病院／関東労災病院／横浜医療センター／茅ヶ崎市立病院／川崎市立多摩病院／藤沢湘南台病院【新潟県】下越病院【富山県】富山県立中央病院【石川県】金沢赤十字病院【福井県】福井県済生会病院／公立丹南病院／福井大学医学部附属病院【長野県】長野赤十字病院／組合立 諏訪中央病院／佐久市立国保浅間総合病院／飯田市立病院／松本市立病院／長野中央病院【岐阜県】松波総合病院／羽島市民病院【静岡県】医療法人社団盛翔会 浜松北病院／浜松赤十字病院／聖隷浜松病院／静岡市立清水病院／聖隷三方原病院／焼津市立総合病院／静岡県立総合病院／地方独立行政法人 静岡市立静岡病院／伊東市民病院／沼津市立病院／静岡リハビリテーション病院／

医療を支える団体、学会、企業、個人の皆さまへ ぜひ「会員」として事業の推進にご協力をお願いします

正会員

団体または学会は正会員として会費を納入していただくことにより共同行動社員総会に出席し、役員の選任や事業内容等の重要な意思決定に加わることができます。また、共同行動の成果物、ねっとフォーラム専用ホームページやメールマガジン等の利用ができ、全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。現在発起6団体をはじめとして70の団体に加入いただいています。

■年会費 団体、学会：1口 5万円（1口以上）

賛助会員

賛助会員は団体、企業、個人が共同行動の事業を賛助するために入会していただくものです。賛助会員は共同行動のホームページやパンフレット等に名称を掲載いたします。全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。

■年会費 団体、企業：1口 10万円（1口以上）

個人：1口 2万円（1口以上）

入会のお願い

共同行動の事業は定款により、患者さんの安全を守り、患者さんと医療者が安心して治療に専念できる環境作りを目的として活動しています。こうした事業活動はおもに会費と寄付金収入によって運営されており、今後の事業の継続、発展には会費収入が不可欠であり、皆さまの入会をぜひともお願いいたします。

■申込方法 事務局 (secretariatpartners@kyodokodo.jp)へ入会申込書をご請求ください。

※詳細はホームページのトップページから「医療関連学会・団体の皆さまへ」をご覧ください。

正会員・賛助会員

【正会員】

医療の質・安全学会／日本医師会／日本歯科医師会／日本看護協会／日本薬剤師会／日本臨床工学技士会／日本医学シミュレーション学会／日本医学放射線学会／日本医療機器学会／日本感染症学会／日本癌治療学会／日本形成外科学会／日本血栓症協会／日本口腔科学会／日本呼吸療法医学会／日本高血圧学会／日本歯科衛生士会／日本集中治療医学会／日本循環器学会／日本小児神経学会／日本神経学会／日本診療放射線技師会／日本赤十字社／日本手外科学会／日本透析医学会／日本乳癌学会／日本熱傷学会／日本脳神経血管内治療学会／日本皮膚科学会／日本プライマリ・ケア連合学会／日本放射線技術学会／日本麻酔科学会／日本慢性期医療協会／日本輸血・細胞治療学会／日本リウマチ学会／日本臨床衛生検査技師会／日本臨床救急医学会／日本臨床外科学会／日本臨床検査医学会／日本臨床腫瘍学会／日本臨床薬理学会／全国国立大学放射線技師会／全国国立病院療養所放射線技師会／青森県医師会／岩手県医師会／茨城県医師会／石川県医師会／兵庫県医師会／広島県医師会／福岡県医師会／佐賀県医師会／長崎県医師会／大分県医師会／北海道歯科医師会／栃木県歯科医師会／神奈川県歯科医師会／石川県歯科医師会／山梨県歯科医師会／滋賀県歯科医師会／京都府歯科医師会／大阪府歯科医師会／兵庫県歯科医師会／奈良県歯科医師会／和歌山県歯科医師会／広島県歯科医師会／岩手県看護協会／宮城県看護協会／群馬県薬剤師会／京都府臨床工学技士会／滋賀県病院協会

【賛助会員】

エーザイ株式会社／サクラグローバルホールディング株式会社／一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会／エドワーズライフサイエンス株式会社／テルモ株式会社／ニプロ株式会社
菅野 隆彦（医師）／杉山 良子（看護師）

※順不同 2016年10月現在

浜松市リハビリテーション病院【愛知県】厚生連海南病院／名古屋共立病院／中京病院／名古屋大学医学部附属病院／名古屋記念病院／名古屋市立大学病院／豊川市民病院／大同病院【滋賀県】長浜赤十字病院／市立長浜病院／野洲病院【京都府】京都市民連中央病院／京都大学医学部附属病院／京都岡本記念病院【大阪府】関西医科大学附属病院／松下記念病院／西淀病院／在日本南アフリカ・アミタツシ 淀川キリスト教病院／阪南病院／大阪市立総合医療センター／小松病院／高槻赤十字病院／堺市立総合医療センター【兵庫県】姫路赤十字病院／宝塚市立病院／六甲アイランド甲南病院／兵庫県立粒子線医療センター【奈良県】奈良県立医科大学附属病院【和歌山県】日本赤十字社和歌山医療センター／南和歌山医療センター【岡山県】総合病院岡山協立病院／岡山大学病院【広島県】広島赤十字・原爆病院／国家公務員共済組合連合会広島記念病院【山口県】岩国市医療センター医師会病院／下関市立市民病院【徳島県】川島病院／松永病院【香川県】大樹会総合病院回生病院／香川県立中央病院【愛媛県】松山赤十字病院／愛媛大学医学部附属病院／宇和島病院【福岡県】製鉄記念八幡病院／健和会 大手町病院／福岡赤十字病院【長崎県】柿添病院／日本赤十字社長崎原爆病院／上戸町病院【沖縄県】沖縄県立中部病院／医療法人一灯の会沖縄中央病院／大浜第一病院

【診療所】

【東京都】石橋クリニック／東京ミッドタウンクリニック【神奈川県】多摩ファミリークリニック【長野県】やざわ虎クリニック【岐阜県】ローズベルクリニック【愛知県】大地整形外科【大阪府】豊中けいじん会クリニック【兵庫県】伊藤産婦人科医院【広島県】谷本医院【佐賀県】じんの内医院

※2016年10月現在

医療安全全国共同行動のあゆみ

第1期 2008～2010

- 2008年
5月 医療の質・安全学会、日本病院団体協議会、日本医師会、日本歯科医師会、日本看護協会、日本病院薬剤師会、日本臨床工学技士会の呼びかけにより、医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”発足。日本経団連会館にてキックオフ・フォーラム開催。
7～9月 近畿、北九州、東北で地域のキックオフ・フォーラム開催。
11月 全国フォーラムを東京ビッグサイトにて開催。特別講演：W・A・コンウェイ医師（ヘンリーフォード病院診療部長兼質改善委員長）「10万人の命を救え」キャンペーンが実現したこと
- 2009年
5月 全国フォーラムを日本教育会館にて開催。特別公演：ブライアン・ジャーマン卿（ロンドン大学名誉教授、前英国医師会長）「英国における改善の指標－標準化病院死亡比の活用ほか」。
6～11月 静岡、宮城、神奈川、岩手にて地域フォーラム開催。
11月 全国フォーラムを東京ビッグサイトにて開催。特別講演：ギュンター・ヨーニッツ氏（ベルリン医師自治機構会長、ドイツ連邦医師会質保証委員長）「欧州における Patient Safety（患者安全）の取組み」
- 2010年
2～11月 沖縄、東京、鹿児島、宮城、石川、静岡、岩手にて地域フォーラム／シンポジウム開催。
5月 共同行動2周年記念フォーラムをベルサール九段にて開催。
11月 全国フォーラムを幕張メッセ国際会議場にて開催。特別公演：李啓充氏（コラムニスト、元ハーバード大学医学部助教授）「患者安全の昨日・今日・明日－非難から改善へ」



医療安全全国フォーラム（2008年）



左上 W・A・コンウェイ医師（2008年）
右上 ブライアン・ジャーマン卿（2009年）
左下 ギュンター・ヨーニッツ氏（2009年）
右下 李啓充氏（2010年）

第2期 2011～2012

- 2011年
7月 英国との共催による肺塞栓予防国際フォーラムを京都にて開催。
10～11月 静岡にて地域フォーラム／シンポジウム開催。
11月 全国フォーラムを日本医師会館にて開催。
- 2012年
4月 医療安全ワークショップを京都にて開催。
10～11月 静岡、岩手、山形で地域フォーラム／シンポジウムを開催。
11月 全国フォーラムを大宮ソニックシティにて開催。



医療安全全国フォーラム（2010年）

新たなステージへ 2013～

- 2013年
5月 一般社団法人 医療安全全国共同行動設立。
6月 記念シンポジウム「医療安全は新たなステージへ」をイノカンファレンスセンターにて開催。特別講演：エバ・エストゥリング氏（スウェーデン自治体協議会医療福祉部門患者安全担当部長）「非難から改善へ－患者安全のためのスウェーデンの取組み」
11月 全国フォーラムをイノホールにて開催。
- 2014年
6月 キックオフセミナー 2014 を国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催。
11月 全国フォーラムを幕張メッセ国際会議場にて開催。特別公演：ドン・ゴールドマン博士（IHI チーフ・メディカル&サイエンティフィック・オフィサー）「患者安全のたどってきた道」
- 2015年
5～9月 栃木、京都、東京で研修会開催。
7月 『医療安全実践ハンドブック』刊行。
8月 医療事故調査等支援団体として、厚生労働大臣より指定の告示。
11月 全国フォーラムを幕張メッセ国際会議場にて開催。講演：アルバート・ウー氏（ジョンズ・ホプキンス大学医療アウトカム研究センター 教授）「ジョンズ・ホプキンス大学病院における医療過誤と患者安全改革」



肺塞栓予防国際フォーラム
in Kyoto（2011年）



全国フォーラム（2015年）

【地域推進拠点】を募集しています

貴地域での地域推進拠点として、共同行動の推進にご協力いただける県等地域団体、基幹病院を募集しています。県や近隣複数県を単位（地域）とし、地域の主要団体と医療機関を繋いで、10目標の実現をめざす取り組みを交流する場（地域フォーラム）や研修機会（地域セミナー等）を企画し開催の労をとっていただける、県・地域の医療団体または中核的医療機関の役割を担っていただける団体は共同行動事務局までお知らせください。

一般社団法人 医療安全全国共同行動

議長 高久 史磨